

青少年センターの移転計画について

1 経 過

平成 2 4 年度

- 耐震診断の結果、耐力不足が判明し、補強も困難であることが判明した

平成 2 5 年度

- 「佐賀市青少年教育のあり方検討委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、今後の青少年教育について整理するとともに青少年センターの機能について検討した
- 委員会からは青少年センターの機能として、以下の内容が答申された
 - ・青少年教育施策の拠点
 - ・青少年の居場所
 - ・困難を有する青少年等の支援拠点
 - ・不登校児童・生徒の支援拠点
 - ・青少年関係社会教育団体の活動拠点
 - ・青少年街頭指導及び青少年等からの相談業務などの拠点
- 上記を実現するためには集まりやすい（交通の便がよい）場所であることや青少年関係団体と連携がしやすい位置にあることが肝要であると整理した

2 概 要

【移転の理由】

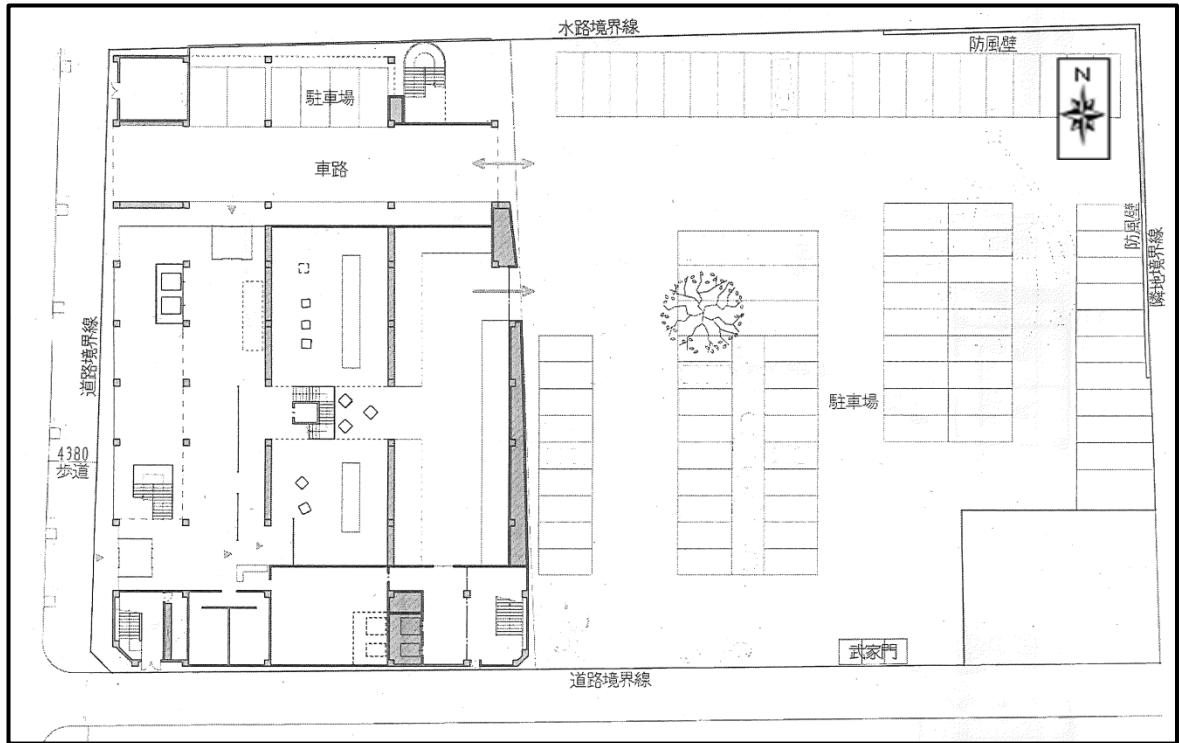
青少年に学習と憩いの場を与え、心身ともに健全な青少年を育成するため、青少年センターを設置する。

青少年センターは、築後 40 年以上が経過しており、耐震診断の結果、補強困難であるため移転する。

【現在の計画】

- マルキョウ跡（4 階建て）の 3 階部分に移転を計画（広さは現在とほぼ変更なし）
- 1～2 階はバルーンミュージアム、4 階は日本語学校
- 天井までの高さが今よりも低くなるので、バドミントンやミニバレーはできなくなる
- 駐車場は現在よりも広くなる
- 大通りに面しており、交通の便が良くなる

3 配置図



4 三階平面図

